

【平成18年度 予算額(案)(信州モデル創造枠)2億1954万3千円 (国庫補助金:1億22万3千円、一般財源:7232万円、県債:4700万円)】

事業の目的

浅川など9流域の森林を効率的かつ集中的に整備します。
強度の間伐等により、針広混交林化を促進させ、壊れにくい森林を造成します。

事業内容

事業区分	事業内容	事業費	
森林整備	普通林(造林)	緊急に整備をする必要性が高く、不在村・高齢化等の理由により、森林所有者による整備が期待できない森林について、森林所有者に代わって県が実施します。	1億2142万4千円
	保安林(治山)	緊急に整備が必要な保安林内の森林に対して、治山事業による森林整備を県が実施します。	9811万9千円
予算額(案)		2億1954万3千円	

事業組立ての変更

補助造林事業により実施していた「水道水源保全地区」など9流域以外の重要な流域の森林整備は、わかりやすい造林制度の再編に合わせて「信州の森林づくり事業」により行うこととし、事業の組立てを改めます。

【H15年度~H17年度】			【H18以降】	
区分	保安林	普通林	保安林	普通林
9流域	治山事業	県営造林事業	治山事業(100ha)	県営造林事業(311ha)
H17・H18予算額	9801万2千円	1億2142万4千円	9811万9千円	1億2142万4千円
9流域・④		補助造林事業		信州の森林づくり事業
H17・H18予算額		4億2724万4千円		4億149万2千円
H17予算額計		6億4668万円	H18予算額計	6億2103万5千円

各流域の整備状況

流域名											(単位: ha)		
	浅川	砥川	薄川	角間川	清川	黒沢川	郷土沢川	駒沢川	上川	県営事業計(うち間伐)	補助事業	合計	進捗率(%)
流域面積	6,800	6,010	7,290	11,700	1,440	6,900	1,680	440	33,660	-	-	75,920	-
森林面積	2,783	5,590	6,769	9,270	1,160	2,678	1,366	407	23,542	-	-	53,565	-
全体計画面積	683	1,359	1,148	1,725	411	366	241	80	3,793	-	-	9,805	-
H15実績面積	55	101	138	116	0	17	7	10	197	641(592)	389	1,030	11%
H16実績面積	17	50	124	68	25	47	14	13	176	534(416)	224	758	18%
H17予定面積	15	53	160	94	30	36	11	8	63	470(344)	340	810	26%
H18計画面積	98	63	72	82	50	15	20	0	103	503(411)	330	833	35%
進捗率(%)	37%	32%	74%	32%	39%	51%	39%	89%	22%	-	-	-	-

針広混交林への誘導

普通林と保安林の一体的な森林整備により、洪水防止機能や水源かん養機能の向上を図り、壊れにくい森林(針広混交林)へ誘導します。

針広混交林施策イメージ図



森林整備 治山事業及び造林事業

